

令和5年
5月発行

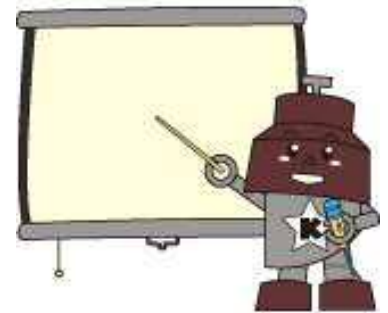
けんこう砦

川口市
保健所
広報

令和5年5月8日より、感染症法上の位置づけが変更になり、新型コロナウイルス感染症は、感染しても外出制限などを求められることはなくなりました。

今まで、国が負担していた治療や検査についての費用は、原則自己負担となります。

今後は、重症化しやすい高齢者施設等の対策が中心になります。



新型コロナウイルス感染症の新しい制度

相談	<ul style="list-style-type: none">「埼玉県コロナ総合相談センター」が開設されました TEL 0570-783-770 ※令和5年9月30日までの期間で、休日を含む24時間対応 (聴覚障害の方向けFAX番号 050-8887-9553)発熱等の症状があって受診を悩む場合や、受診先の相談に対応します
検査	<ul style="list-style-type: none">PCR検査等は保険診療が適用されます(自己負担あり)高齢者施設のクラスターの場合などは、保健所が集中検査を実施することがあります
発熱時	<ul style="list-style-type: none">発熱や咳などの症状がある場合は、医療機関を受診してください
陽性になったら	<ul style="list-style-type: none">保健所の健康観察はありません(医師の指示に従ってください)濃厚接触者を特定することがなくなります外出等の制限はなくなります <p>発症後5日間かつ症状が軽快して24時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから、外出を控えることをお勧めします。</p> <p>※ウイルスの排出期間：発症2日前～発症後7～10日ぐらいまで</p>
治療	<ul style="list-style-type: none">保険診療が適用されます(自己負担あり)治療薬(7種類)は自己負担がありません ※令和5年9月30日までの期間入院が必要となった場合、医療機関が入院先を探します宿泊療養施設での療養はなくなります
その他	<ul style="list-style-type: none">高齢者施設等の対策として、埼玉県が、感染拡大を防止するための助言を行う専門家チームを施設に派遣します ※令和5年9月30日までの期間

保健所が担当している業務について、詳しくは . . .

[川口市保健所ホームページ](#)

検索

問い合わせ……管理課管理係 TEL 048-423-2334(直通)

性感染症の新ジョーシキ

性感染症には どんなものがある？

性感染症は10種類以上あります。
特に梅毒は、ここ数年急増しています。

性器クラミジア感染症

梅毒

淋菌感染症

HIV/エイズ

尖圭コンジローマ

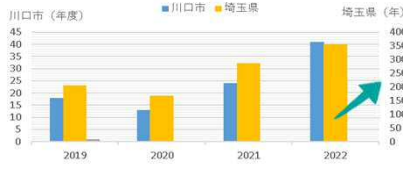
外陰部カンジダ症



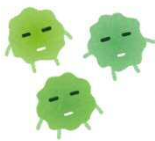
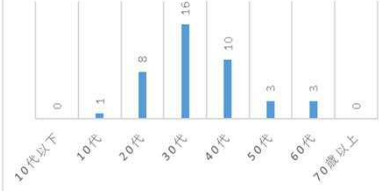
2022年は
過去最多！

20代~40代の間で
梅毒拡大中

梅毒発生届数



2022年度 川口市 年代別梅毒発生数



性感染症について正しく知っていますか？

- 自覚症状が乏しい性感染症が多いため、感染に気が付かず人に感染させることもあります。
- 妊娠中に感染していると、胎児に感染する可能性があるものもあります。
- 性感染症は治療すれば治りますが、免疫ができない病気が多いので、何度でも感染することがあります。
- 性器ヘルペス、性器カンジダ症は疲労等で免疫が低下すると再発することがあります。
- 梅毒は、しこり・ただれ・発疹等の症状が出て痛みや痒みがなかったり、途中で消えることもありますが、治療しない限り進行します。

性感染症から身を守るには？

性感染症の感染のリスクは、誰にでもあります。
自分の問題として、きちんと考えておくことが重要です。



気になる症状があれば医療機関へ

性器のかゆみ、ブツブツ、
おりものの増加など
気になる症状があれば医師の
診察を受けるようにしましょう

感染リスクの低い性交渉を選択しよう

不特定多数や、
見知らぬ相手との
性交渉をしないことも
予防のために重要です

性交渉の時はコンドームを使おう

予防の意思を
相手にきちんと
伝えることが大切です



どこで検査を受けられますか？

医療機関や保健所で検査を受けることができます。
川口市保健所では、**月に1回**定例で無料・匿名の性感染症検査を実施しています。

★HIV/エイズ・性感染症検査 (匿名・予約制)

<内容> HIV(エイズ)・梅毒・B型肝炎・C型肝炎血液検査
<日時> 令和5年6月8日(木) 13:15~14:00受付

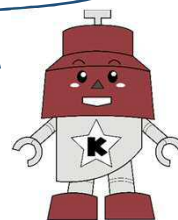
★HIV/エイズ・梅毒即日検査 **NEW**

<日時> 令和5年12月6日(水) 結果返却日: 当日
<定員> 先着100人
<場所> 川口駅前フレンジア

詳しくはこちら！



川口市ホームページ



問い合わせ 川口市疾病対策課感染症係 **048-423-6726** (直通)

気を付けよう！夏場の食中毒

日差しの強い日が増えてきました。さて、生のお肉には食中毒のリスクが隠れています。今回は気温が高まるこの時期に、バーベキュー場などの行楽先や家庭で起こりやすい食中毒をご紹介します。

1 カンピロバクター

肉やレバーの刺身、たたきなど
(特に生または加熱不十分な鶏肉)

発症 食後1日～7日
症状 下痢、腹痛、発熱、嘔吐、倦怠感
※まれに感染してから数週間後に、手足のまひや呼吸困難を起こす「ギランバレー症候群」を発症することがある。

予防 肉は中心部までよく加熱する
生肉・加熱不十分な肉は食べない。
生肉を扱った調理器具は十分に洗浄や消毒をし、使い分けをする。

★特徴 生または加熱不十分な鶏肉を食べて発症することが多い。

2 腸管出血性大腸菌

牛肉、菌に汚染された水や食品など

発症 食後おおよそ3日～8日
症状 激しい腹痛、水様便、血便、発熱
※重症例ではHUS（溶血性尿毒症症候群）を発症し、死に至ることも。
予防 肉は中心部までよく加熱する。
生肉を扱った調理器具は十分に洗浄・消毒、使い分けをする。
生野菜を食べるときはよく洗う。

★特徴 感染力がとて強く、わずかな菌数で発症する。
環境中で汚染された生野菜を食べて発症することも。

自宅でできる！

**「新鮮なお肉だから安全」
ではありません！**

食中毒予防3原則

食の安全のために家族でチャレンジしてみましよう！

① つけない

- ◎ 手洗い
- ◎ 食品や器具からの汚染防止
- ◎ 調理する人の健康管理

ハンドソープ等で丁寧に。
2度洗いが効果的です。

② ふやさない

- ◎ 食品の適切な温度管理
- ◎ 調理後の食品はすぐ食べる

食品を詰めすぎず、
7割程度にする

③ やっつける

- ◎ 十分な加熱
- ◎ 調理器具の洗浄・消毒
- ◎ キッチンやトイレの清掃・消毒

目安は中心温度
75℃1分以上。

問い合わせ 食品衛生課食品衛生係 電話 048-423-7889 (直通)

日頃から備えよう ペットの防災対策

備蓄品や避難用具を準備しておきましょう！

災害発生時にはペット用品が手に入りにくくなることが考えられます。

また、原則として避難所にはペット専用の備蓄品はありませんので、万が一に備えて、ペットの防災用品を準備しておきましょう。

特に、薬を服用していたり、療法食が必要な場合は命にかかわりますので、必ず備蓄しておきましょう。

備蓄品チェックリスト

優先順位1・・・命や健康に関わるもの

- 療法食、薬
- フード、水
(少なくとも5日分[できれば7日以上])
- 首輪、リード(伸びないもの)
- キャリーバッグやケージ
- ペットシーツ
- 排泄物の処理用具
- 食器

優先順位2・・・飼い主や動物の情報

- ペットの写真(印刷物とともに携帯電話などに画像を保存しておくことも重要)
- 飼育記録・飼育手帳(ワクチンの接種状況、既往歴、かかりつけの動物病院などの情報)

優先順位3・・・ペット用品

- タオル、ブラシ
- ウェットシート等
- ビニール袋
- ガムテープ、新聞紙、マジック
(ケージの補強等に使用)
- お気に入りのおもちゃ
- 洗濯ネット(猫の保護や保定の際に使用)

問い合わせ・・・生活衛生課動物愛護係
☎048-229-3979(直通)

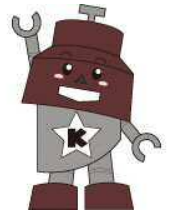
避難所や避難ルートを確認を行いましょう！

市内の指定避難場所である小・中・高等学校には、ペットと同行避難をすることができます。

避難する場合に備え、ウェブサイト等で『避難所の所在地』や『避難所までの安全な避難ルート』を把握しておきましょう。

「同行避難」とは

災害発生時に飼い主が飼養しているペットと同行し、避難所まで安全に避難することです。避難所ですとペットが同一の空間に居住できることを意味するものではありません。

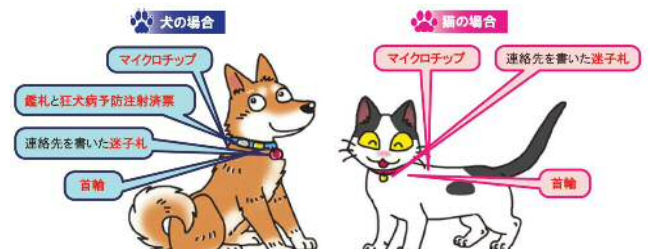


川口市マスコット「きゅぼらん」

逸走防止対策と所有者明示を行いましょう！

災害発生時には、驚いたペットが逃げたてしまい、迷子になってしまう可能性があります。保護された際に無事に飼い主の元に戻れるよう、普段から身元を示すものをつけましょう。

さらに、首輪などが取れてしまったときの確実な身元証明として**マイクロチップの装着**といった二重の対策を取りましょう。



イラスト：環境省パンフレット「備えよう！いつもいっしょにいたいから」から引用

ペットのしつけと健康管理を行いましょう！

避難所でのペットの飼養においては、人や他の動物を怖がったり、むやみに吠えたりしないこと、ケージやキャリーバッグに慣れていること、決められた場所で排泄できることなどが必要になります。

また、普段からペットの健康管理に注意し、予防接種やノミなどの外部寄生虫を駆除するとともに、トリミングなどを行いペットの体を清潔に保ちましょう。

